

2019年7月3日
日本メジフィジックス株式会社
Combinostics Oy

認知症診断補助ソフトウェアの開発と独占的販売の契約締結について

日本メジフィジックス株式会社（以下、「NMP」）とフィンランドの Combinostics Oy（以下、「Combinostics」）は、この度、クラウド型認知症診断補助ソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」）の日本における開発および独占的販売に関する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本ソフトウェアは、Combinostics により AI 技術を利用して開発されました。認知症診断における MRI 画像の視覚評価では、医師はわずかな脳萎縮の検出や種々の認知症に関連する脳萎縮のパターンを解析する必要がありますが、本ソフトウェアは既存のデータを基にした定量的な結果を提供します。それに加え、神経心理テストなどの検査結果も併せて解析することで、医師の業務軽減とより迅速で正確な診断の支援を目指します。本ソフトウェアは、欧米では医療機器としての認可を受けており、既に販売を開始しています。

今後、認知症患者の増加が予想されるなかで、適切な医療環境を整備することは、製薬企業の重要なミッションです。日本における放射性医薬品のトップメーカーである NMP は、Combinostics とパートナーシップを締結し、本ソフトウェアの日本における開発を進め、2022 年度の販売開始を目標に薬事承認の取得を目指してまいります。

【日本メジフィジックス株式会社 代表取締役社長 下田尚志のコメント】

「当社は『デジタル技術を活用した医療ソリューションサービスの提供』を重要な事業戦略の柱の一つに位置付けております。高齢化に伴う認知症の増加への対応が世界共通の課題とされる中、今回、Combinostics との契約締結により、重大な社会課題である認知症の診療に貢献できる契機を得ることができました。今後も様々な領域にデジタル技術を活用したトータル医療サービスを提供することで、更なる社会貢献を目指してまいります。」

【Combinostics Oy CEO Mr. Lennart Thurfjell のコメント】

「当社は、認知症における臨床的判断の支援ツールを手掛けており、近年、欧州と米国において本ソフトウェアを上市いたしました。一方で、高齢化が進む日本も当社にとって重要な市場と認識しており、この度、日本市場のニーズに合致した製品の共同開発について NMP と提携することとなり、大変嬉しく思っています。」

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックス株式会社は、放射性医薬品の国内トップメーカーとして、研究開発、製造、安定供給に日々取り組んでいます。当社は、国内の核医学診断分野で培った技術力と信頼をベースに、既存事業の枠を超えた『セラノスティクス（治療と診断の融合）』、『デジタル技術の活用』、『アジアの核医学のリーディングカンパニー』の早期実現を目指しています。当社は、生命関連企業としての価値創造を継続し、社会に貢献していきます。

当社の詳細情報は <https://www.nmp.co.jp> をご覧ください。

Combinostics Oy について

Combinostics はフィンランドを拠点とするデジタルヘルス企業で、AI 技術を用いた神経変性疾患における臨床的判断を行う際の支援ツールの開発と販売に重点的に取り組んでいます。神経変性疾患の診断においては、複数の異なるデータ（画像診断、臨床検査、認知機能テストなど）を用いて総合的に診断することが必要です。この点に着目した本ソフトウェアは、これらの情報を機械学習システムで統合したデータを提供することで、医師の鑑別診断や進行度の予測を支援します。現在、本ソフトウェアは欧州および米国において認知症領域で使用されています。

当社の詳細情報は www.cneuro.com をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社

総務人事部（広報担当） 東京都江東区新砂 3-4-10 電話 03-5634-7006 FAX 03-5634-5170

Combinostics Oy

Corporate Communication EMAIL contact@combinostics.com PHONE +46-730-699057